第4回 Kimono Amore 開催のご案内

拝啓　皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、第4回「Kimono Amore（きものアモーレ）」を開催する運びとなりましたので、ここにご案内申し上げます。
お客さまときもの作家、そしてきもの産地との結びつきが薄れつつある昨今、私たちはその架け橋となり、きもの文化を未来へとつないでいくことを目指しております。
その想いのもと、「Kimono Amore（きものアモーレ）」では、次世代へ伝え続けられる伝統文化と技術を体験していただくことを目的に、職人による手ほどきのもと、さまざまな染織体験をご用意いたしました。
また、特別イベントとして京都より舞妓をお招きし、日本舞踊の披露やお座敷遊びの体験もお楽しみいただけます。
このような時代だからこそ大切にしたい熱い想いを共有し、心ときめく「美の世界」を展開いたします。
ぜひこの機会にお着物をお召しになり、優雅なひとときをお過ごしください。
皆さまのご来場を心より お待ち申し上げます。

敬具
きものサロン スタッフ一同

京都祇園廣島家 小桜さん

京舞とお座敷遊び

体験 要予約

舞妓さんとお座敷遊び体験

屏風をはさんで、鬼は、虎、おばあさんのミすくみジェスチャージャンケンをする「とらとら」。向かい合って座り、音楽にあわせて交互に台の上のハカマに手をついたり、とったりする「こんびらふねふね」を体験できます。

開始時間
Aコース 10:00〜
Bコース 14:00〜
完全ご予約制となります。ご来場日・コースのご予約をお願いします。

●初回Aコースに参加されるお客様は、舞妓さんによる舞踊家による舞妓姿体験は、Bコースと同じ時間帯でご体験いただけます。
・初日のAコース体験時間：14:00〜

廣島家 小桜さん

祇園の「廣島家」は、お茶屋と置屋を兼ねる格式ある店です。その性質上、古くから政財界の大物や文化人など、社会的に影響力のある人物との交流が深く、落語家の柱米團治氏がSNSで言及したことでも知られています。

舞妓まめ知識

舞妓・芸妓の世界には、厳しいしきたりや恢由の伝統があります。置屋での稽古は勿論、一人前の芸妓として花開き花街を歩くには、幅広い修練が欠かせないのです。舞妓になる前（15歳頃）、1年間にわたり、置屋で修さん（先輩）たちと暮らしながら、着付けや作法、舞などの基本的なことを学びます。お座敷によばる舞妓になり、女性として、芸妓として花開くために欠かせない教養、お稽古、お座敷での接待について、しっかり学びます。

着物
「絵引き」というお引きずりの着物を着ます。振袖の丈を少し短くしているのは、舞妓さんの少女らしさを表したものです。帯には「ぼっちり」という大きな帯留が光ります。これは舞妓さんから舞妓さんへ譲り受けると、とても高価なものです。

かんざし
四季の花をあしらったかんざしは、1月から12月まで毎月変わります。
2月は梅、4月は桜、10月は菊・・と四季折々を表したもので、繊細なつくりになっています。

だらりの帯
舞妓さん独特の足首まで長く垂れた帯の結び方。これぞの帯風が小さくたにゆらゆらと揺れる可愛らしい姿で、江戸の吃驚のおしゃれ心から生まれたといわれています。もちろんこの意匠の舞妓さんの帯は6メートル以上になることもあるとても重くなるため、男衆が常を締めます。帯の下には異ずをお所屋さんの紋が美しるわれています。

古典の文様をベースに、現代的な遊び心を取り入れたデザインで、着る人の個性を引き立てます。復刻柄の「伝承小紋」、洒落感ある「シャレ小紋」、きらんと感のある「シンプル小紋」など、表情豊かな作品を展開。現当主・高田啓史氏が手がける小紋や帯は、多くのきものファンの心をとらえ、近年はドラマや映画の衣装提供でも注目を集めています。